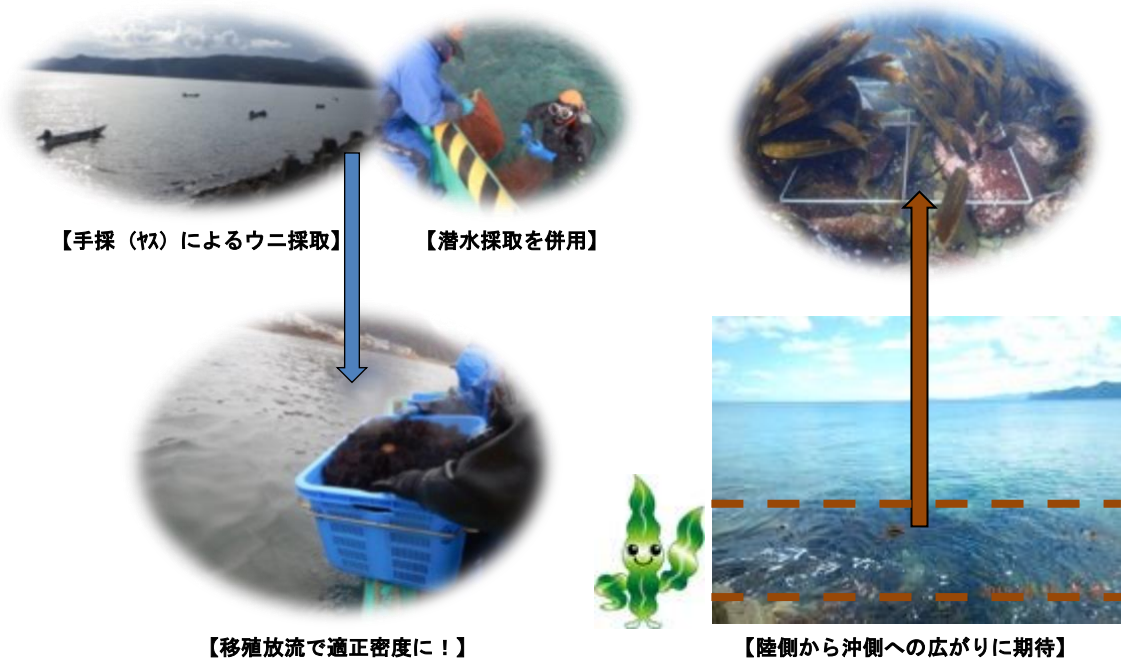


活動状況

ふるびら海づくり推進協議会

活動組織は、浅海漁業部会を中心として組織されており、いままで個々にバラバラに行っていた「ウニの密度管理」を定められた協定面積内で計画的に集中して実施するよう取り進めています。活動計画の策定では、試験場の助言を参考にして、次の内容を取り入れています。

- ① 活動漁場は、海藻の繁茂しやすい条件が整っている場所を選定する。
- ② 活動方法は、水深帯によって人手と潜水作業を使い分けた取組体制とする。



さらに、水産多面的機能発揮対策支援委託事業を取り入れ、サポート専門家による個別サポートを受けながら、効果的な事業の推進を目指しています。個別サポートとは、全漁連から派遣された各分野の専門家から運営や技術に関する助言・指導を受けるものです。



【栽培会社の宮川専門家（左端）による個別サポート】

古平町の個別サポートは、北海道内では初の取組となっており、活発な意見交換・報告等が行われています。構成員の皆さんは、活動を通して、ウニの密度管理の重要性を再認識しており、「もっと、徹底して継続したウニ採取が必要だ！」との声が聞かれるようになりました。